

創る力が自信と未来へつながる ～夢・チャレンジ・実現～

北海道雨竜高等養護学校 木工科

学科で大切にしていること

職場というステージで生き生きと働き、豊かな人間関係を築いていける
「職業人」へと成長すること。

「次へ“つながる”仕事のエッセンスの習得」に、みんなで励んでいます。

応用した仕事も体験して、確信を強め、自信を深めます。

例【仕事（研磨作業）の要点】

「より美しく・より短時間で」
適切なやすりを選ぶ
（適した道具の選定眼・理解）
徹底、見落としをしない
協力、分業による効率化

繋

（校内で可能な応用）

校内清掃作業

除草作業

仕事前のミーティング など

【研磨作業の要点がそのまま活用できる】

（他の作業種にも共通）

～日々、秋の学校祭での
学科販売会に向けて製品を作っています～

- 1 学年…木べら、炒めべら、クリスマスツリー、
カッティングボードなど
- 2 学年…踏み台、時計（他事業の積み木も製作し
ながら）など
- 3 学年…プレート皿、ごみ箱、ミニトレイなど



新年度当初に依頼を受け、注文内容を考慮し
上で木材を選定。デザインについて考え、期限内
の6月末には納品を済ませることができました。

受注生産にも挑戦
（記念品カッティングボード製作）

平成 25 年から、東京おもちゃ美術館、雨竜町
教育委員会と本校が協定を結び、続いている事
業です。三者が提携して、学校としては全国初の
取り組みとしてスタートしました。生徒が精密研磨で
仕上げた積み木を、町内の 1 歳半になるお子さん
にプレゼントして、その場で少し遊んで木に親しみ気
持ちは高めます。今年度までで 144 名の町の子供
たちに贈呈しています。

ウッドスタート事業
（積み木の製作と贈呈）

